

平成21年度「JAPANブランド育成支援事業」採択プロジェクト一覧
(ブランド確立支援事業(1年目))

NO	都道府県名	事業実施者	事業概要
1	東京都	特定非営利法人 秋葉原観光推進協会 TEL:03-3251-5347	【秋葉原の魅力発信・コンテンツブランド創造事業】 活用する地域資源：キャラクター等 秋葉原独自キャラクターを新たにデザインし商品(菓子、ストラップ等)開発事例により秋葉原をアピールし、秋葉原に集積する他のキャラクターのライセンスやコンテンツの二次利用権を明確にし、商品開発への取組を促進する。
2	東京都	一般財団法人 Globally Local Media (グローバル ローカル メディア) TEL:03-3645-7086	【チェス プロジェクト】 活用する地域資源：九谷焼、山中漆器 世界最高レベルにある日本伝統産業技術を伝えるとともにその技術を駆使して、世界の『用』を、今の時代の感性『デザイン』を作る。
3	山梨県	山梨県ワイン酒造 協同組合・ 甲州市商工会・甲府 商工会議所 TEL:055-233-7306	【「甲州ワイン」のEU輸出プロジェクト】 活用する地域資源：甲州ワイン 世界的な和食ブームを背景に品質の高さが認められワイン評論家やジャーナリストから注目されている日本固有の「甲州ぶどう」から造った「甲州ワイン」をワインの本場EU市場に輸出することで「甲州ワイン」の世界的に認知とともに、産地確立や市場拡大をねらう。
4	東京都	東京商工会議所 TEL:03-3283-7500	【リビング・デザイン 東京】 地域資源：家具 製品品質や製造技術と新たな技術や需要に積極的に応えられる利点を活かし、ライフスタイルに合わせた家具を提供する。「粋でいなせな江戸っ子気分」をブランドコンセプトとし、<室礼 しつらい>という空間イメージという東京ならではの家具を使って世界のマーケットに発信する。
5	石川県	特定非営利活動法人 金沢九谷倶楽部 TEL:076-221-6666	【世界に通用する九谷焼の食器づくり～和と洋の融合～】 活用する地域資源：九谷焼 和と洋を融合させたワイングラスなどの食器製品を九谷焼の技術を用いて製作し、欧米において調査研究を実施しそれをもとに商品改良等を行う。展示会や見本市で発表し、九谷焼の海外販路開拓を目標とする。
6	岐阜県	岐阜商工会議所 TEL:058-264-2135	【「オリベスク」JPブランド確立事業】 活用する地域資源：テキスタイル 岐阜アパレル産地の地域資源である尾張テキスタイルを、岐阜県との連携により独自のブランディング推進事業として行っている「オリベスク」と連携・融合させ、新たなジャパン・ファッション・ブランドの創出を図る。
7	福井県	武生商工会議所 TEL:0778-23-2020	【越前(EchiZen)ブレードプロジェクト】 活用する地域資源：刃物 700余年の歴史を持つ「越前打刃物」の伝統を、日本制包丁に対する認知度や評価が高まっているヨーロッパにて展開する。積極的な見本市への参加や具体的な伝統工芸士による商品関連デザインを行いビジネスモデルを構築する。
8	和歌山県	紀州繊維工業協同組合 TEL:0736-42-3113	【「KOYAGUCHI PILE」ブランドの構築】 活用する地域資源：パイル織・編物(シール織・編物) 当産地の特色あるパイル織・編物製品の技術及びクオリティーのポテンシャルの高さを国内及び世界に発信し、「KOYAGUCHI PILE」ブランドの確立と育成を目指す。

平成21年度「JAPANブランド育成支援事業」採択プロジェクト一覧
(ブランド確立支援事業(1年目))

NO	都道府県名	事業実施者	事業概要
9	高知県	高知商工会議所 TEL:088-875-1177	【土佐宝石珊瑚ブランド「SeaProof」海外展開プロジェクト】 活用する地域資源：宝石珊瑚 高知県の特産品である宝石珊瑚のブランドの構築に向け、新たなコンセプトによる新製品開発に取り組むとともに、国内の新たな市場の開拓に加え、珊瑚の持つ価値観を共有できる海外市場開拓も視野に入れたプロモーション戦略の検討等を行う。
10	徳島県	徳島県商工会連合会 TEL:088-623-2014	【徳島の精密な木工技術と伝統文化を活用したブランド確立】～伝統技術との融合、市場ニーズにマッチした徳島発のJAPANブランド～ 活用する地域資源：木工技術 徳島県を持つ伝統的な木工技術の優位性をアピールすることにより、ブランド確立を図るため、遊山箱を生み出す精緻な木工技術を活用して新製品開発を行うとともに、新市場開拓に取り組む。
11	鹿児島県	鹿児島県商工会連合会 TEL:099-226-3773	【“薩摩の飲茶”を本場中国、ヨーロッパに展開～薩摩の食のジャパンブランド化事業～】 活用する地域資源：焼酎、鹿児島牛、鹿児島黒豚、さつまあげ、塩干。茶、ミネラルウォーター、黒糖など 特色ある薩摩の食材を活用し、飲茶の本場である香港、台湾、中国の消費者を納得させる飲茶をテーマとしたグルメ・健康メニュー「薩摩の飲茶」の開発を通じた鹿児島産食材の現地における知名度の向上と浸透を目標とする。
12	福岡県	東峰村商工会 TEL:0946-74-2121	【小石原ポタリー(陶器)ブランド化事業～民陶モダニズムを、世界の食卓へ！～】 活用する地域資源：小石原焼 昭和40年代の民陶ブームにより窯元数も50を超え、6億円を超える年間売り上げも急激な落ち込みを見せる中で、現代の食とモダンリビングにマッチする新しい「民陶モダニズム」を07年よりスタートした。ターゲットを明確とした商品ラインの強化を図るとともにコミュニケーションという視点の戦略展開を図る。
13	長崎県	新上五島島町振興公社 TEL:0959-55-3219	【新上五島町～純粹つばき油～JAPANブランドプロジェクト】 活用する地域資源：ツバキ油 五島産のつばき油は高品質で人間の肌と相性の良いとされるオレイン酸を多く含んでいる。現状は、輸送コストの問題や新商品開発に苦慮しているため本事業によりブランディングによる認知度アップを図る。
14	沖縄県	伊江村商工会 TEL:0980-49-2742	【JAPANブランド育成支援事業「伊江島合鴨」～伊江島から世界へ、新たな食の喜びを提案～】 活用する地域資源：合鴨 合鴨をシモン芋など伊江島の特徴的な素材で肥育し、ビタミンK、D、不飽和脂肪酸などの有効成分を多く含む肉質への改良と加工品を開発し、国内都市部のレストラン等やヨーロッパ市場に日本産の新たな食材ブランドを発信する。

平成21年度「JAPANブランド育成支援事業」採択プロジェクト一覧
(ブランド確立支援事業(2年目))

NO.	都道府県名	事業実施者	事業概要
1	青森県	弘前商工会議所 TEL:0172-33-4111	<p>【鍛冶町・鍛造刃物産業構築「津軽打刃物」ブランド展開プロジェクト】 活用する地域資源： 刃物</p> <p>昨年度は、弘前市の地域資源である「津軽打刃物」について新商品開発を行ったことにより、見本市を通じて海外代理店契約を行うことができた。今年度は、売れ筋商品の選定や新規開拓を行い、国内及び海外への流通体制を確立する。</p>
2	栃木県	鹿沼商工会議所 TEL:0289-65-1111	<p>【かめまグループ高度微細加工技術ブランド化プロジェクト】 活用する地域資源： 切削技術</p> <p>「微細加工・切削加工」という特殊な技術を地域資源として活用し、ビジネスモデルの検討により、ドイツ創企業・研究機関と共同研究・技術開発活動を開始し、有力展示会・見本市への出展を計画する。</p>
3	群馬県	昭和村商工会 TEL:0278-23-2918	<p>【こんにやくヘルシーダイエットバーガー開発プロジェクト～こんにやく王国・昭和村発！アメリカ文化の象徴であるハンバーガー市場への挑戦～】 活用する地域資源： こんにやく</p> <p>平成20年度事業で試作した『こんにやくハンバーグ』の完成度(価格・原価の低減・カロリー・ヘルシー性のアップ)を上げ、ヘルシーバーガーとして消費者の支持を得るものに作り上げる。沖縄のハンバーガーチェーンにおけるテスト販売に加えてアメリカ市場調査を実施して商品改良の必要性を探る。併せてこんにやくのスウィーツレシビの開発と商品化に関する研究をスタートする。</p>
4	新潟県	新津商工会議所 TEL:0250-22-0121	<p>【花のまち・地域ブランド創出事業】 活用する地域資源： 花卉</p> <p>新津地区において苗木生産日本一を誇っているアザリアやボタン等のさらなる品種改良を行い、ロシア極東地域への需要開拓、および生産技術の優位性から市場価格等で高い評価を得ているクリスマスローズへ焦点をあてた商品づくり等による国内外でのブランド化と産業の活性化を図る。</p>
5	長野県	長野商工会議所 TEL:026-227-2428	<p>【ニューシルク製品を中心としたファッションブランドの欧州進出事業「長野発 ナチュラルピュアライフブランド確立プロジェクト】 活用する地域資源： 繊維製品</p> <p>古代よりシナノキの繊維を生産する地として知られている歴史的背景と、豊かな自然資源、ものづくりのDNAを最大限に活用し、従来のシルクの魅力を生かしつつも、弱点を克服したニューシルク製品の開発に力を入れ、「日本の伝統美×エコロジー×新技術」の融合という、これまでにない新鮮なファッションブランドの確立を目指すため、市場調査を行い、販路開拓に取り組む。</p>
6	静岡県	静岡商工会議所 TEL:054-253-5111	<p>【ヨーロッパ市場で売れる静岡茶づくり】 活用する地域資源： お茶</p> <p>昨年度実施した静岡茶ブランドコンセプトの構築、テスト商品の開発、ヨーロッパでのテストマーケティングとブランドプロモーション等の成果を踏まえ、本年度は現地のディストロビューターやお茶販売店などとコラボレーションした商品を開発し販売販路を開拓する。</p>
7	広島県	東広島商工会議所 TEL:082-420-0301	<p>【西条酒JAPANブランド確立事業】 活用する地域資源： 日本酒</p> <p>昨年度の取り組みにおいて、外国人にも西条酒の特徴が伝わる名称、ロゴ・マーク等の制作、西条産地呼称清酒認証制度の検討、外国人を意識した共同商品の検討や商品ラベルの整備を行った。今年度は西条酒造協会が定めた品質認証基準「西条産地呼称清酒認証要綱」を核とした新商品を「SAIJO SAKE Taste Japan」として世界に向けて発信する。</p>
8	熊本県	人吉商工会議所 TEL:0966-22-3101	<p>【球磨焼酎を世界ブランドに】 活用する地域資源： 焼酎</p> <p>人吉球磨地域の特産品である「球磨焼酎」を日本を代表するブランドに育てるため、周知活動として焼酎のテイasting会を行う。併せて海外展開も視野にいれ、海外向けの新商品開発や市場調査を行う。</p>

平成21年度「JAPANブランド育成支援事業」採択プロジェクト一覧
(ブランド確立支援事業(2年目))

NO.	都道府県名	事業実施者	事業概要
9	大分県	佐伯商工会議所 TEL:0972-22-1550	<p>【「世界一・佐伯寿司」海外展開プロジェクト】 活用する地域資源：寿司</p> <p>全国屈指の好漁場である「豊後水道」を背景に、佐伯市の地域産品である「佐伯寿司」の販路拡大を図る。主に中東・アジアの大都市に店舗展開し、国内では寿司の通信販売や大都市圏でのテイクアウト寿司展開によって、“世界一”の寿司ブランドを目指す。</p>
10	沖縄県	東村商工会 TEL:0980-43-2931	<p>沖縄県・東村「やんばるの東」ブランド構築および拡張プロジェクト 活用する地域資源：パインアップル</p> <p>これまでに開発した商品(菓子・調味料・加工食品)に3~5品の新商品を開発しギフト部門の新たな販路開拓を行う。国内においては、東村パインの認証制度を検討し食の安全確保を行う開発し、東村パインのブランド化を図る。海外においては主に商社を通じた販路開拓とともにを行う。また、東村特産品を一同に取り扱う組織についても検討する。</p>

平成21年度「JAPANブランド育成支援事業」採択プロジェクト一覧 (ブランド確立支援事業(3年目))

NO.	都道府県名	事業実施者	事業概要
1	福島県	伊達市商工会 TEL:024-577-0057	<p>【JFK ジャパン・ニット・ブランド・プロジェクト】 活用する地域資源：ニット製品</p> <p>糸染から製品化、販売までのシステムをJKB(ジャパン・ニット・ブランド)と位置づけ、ロシア及びヨーロッパ部の大都市への進出に向けて、バイヤーの招聘事業や組織の法人化を行い、バイヤーが発注しやすい環境づくりに努める。見本市等を重ねるたびにより完成度の高い商品の要求に応えるため、さらに商品開発を進める。新たな市場開拓先としてミラノのニット界の調査事業を実施する。</p>
2	宮城県	宮城県商工会連合会 TEL:022-225-8751	<p>【NARUKOブランドプロジェクト】 活用する地域資源：木地玩具(こけし)、漆器</p> <p>二つの異なる伝統産業(こけし・漆塗り)の融合によるプロジェクトとして、昨年の異なったパーツの組み合わせ(積み木的な遊び心)の具現化により開発した商品に加えて、さらに新製品のバリエーションの拡大を図る。Webサイトの充実によるブランド訴求力を高めるとともに見本市等への積極的参加により海外市場での受注を目指す。</p>
3	栃木県	足利商工会議所 TEL:0284-21-1354	<p>【“足利幕府”プロジェクト】 活用する地域資源：繊維製品等</p> <p>足利地域の地場産業である繊維産業とアルミ産業を「足利幕府」というキーワードに集約し、古くから足利で培われた技術やデザインを融合させ、新たな新商品開発を行う。</p>
4	山梨県	甲府商工会議所 TEL:055-233-2241	<p>【ジュエリー産地山梨・産地ブランド「Koo-fu」プロジェクト】 活用する地域資源：宝飾品</p> <p>産地の特性を活かした価値商品であると同時に産地のPRの役割を担う「Koo-fuコレクション」と、プロジェクトに参加する事業者それぞれの独自性を活かして開発する「各社のKoo-fu」の2つで構成し、「Koo-fuコレクション」を開発する。「産地のジュエリー」としての明確な差別化を行い、香港を拠点とした中国市場への開拓を図る。</p>
5	静岡県	静岡商工会議所 TEL:054-253-5111	<p>【「NIPPON SENSE」プロジェクト(静岡家具ブランド推進プロジェクト)】 活用する地域資源：家具</p> <p>昨年はイタリア人デザイナーのセルジオ・カラトローニ氏による試作品開発を行い、メゾン・エ・オブジェ2009、JAPANブランドExhibition in Paris にも出展し、静岡の木工美術と日本の美学を海外にて発表した。今年度は積極的な製品改良・開発によって製品力を高めると同時に、Webによる販売体制、従来の家具流通とは違う取扱店を積極的に開発し、ブランドを市場に浸透させていく。</p>
6	愛知県	豊橋商工会議所 TEL:0532-53-7211	<p>【『三河つくだ煮』ブランディング事業 — MIKAWA TSUKUDANI COLLECTION —】 活用する地域資源：つくだ煮</p> <p>昨年度は、本事業の取り組みにより「三河つくだ煮セット美味づくし」を開発・販売し、ブランド力の向上を図った。今年度は引き続き新商品を開発するとともに、本年4月に設立した「有限責任事業組合 三河つくだ煮販売」との連携により、ブランド力向上、販路開拓を目指す。</p>
7	愛知県	蒲郡商工会議所 TEL:0533-68-7171	<p>【三河繊維製品のブランド確立プロジェクト】 活用する地域資源：三河木綿・三河綿</p> <p>地域団体商標である「三河木綿」をより広く展開させるため、過去2年間の取り組みの成果を踏まえ、国内外の展示会に出展し、販売チャネルの開拓・整備を行い、新商品開発と並行して販売にも力を入れる。</p>

平成21年度「JAPANブランド育成支援事業」採択プロジェクト一覧 (ブランド確立支援事業(3年目))

NO.	都道府県名	事業実施者	事業概要
8	福井県	大野商工会議所 TEL:0776-66-1230 勝山商工会議所 TEL:0779-88-0463	<p>【『醗酵によるまちづくりを目指して』】 活用する地域資源：醗酵食品</p> <p>スローライフやロハスなど健康志向が高まっている中、「地域に愛される商品」、「地域が誇れる商品」を目指して商品開発とマーケティングを進め、醗酵食のブランド化により「醗酵王国 奥越前」の構築に向けて事業展開を行う。</p>
9	福井県	鯖江商工会議所 TEL:0778-51-2800	<p>【本質的本格的な漆の伝統工芸品「REAL JAPAN」ブランドの展開】 活用する地域資源：漆器</p> <p>日本全体を一つの漆の工芸品の産地として捉え、各産地から優れた技術を持つ職人を終結させ本質的本格的な漆の伝統工芸品を作り、世界の美術館等との連携により、伝統的工芸品のブランドビジネス展開を図る。今年度は、世界に冠たる「REAL JAPANブランド」にするため、参画事業者が中心になって出資を行い会社を設立するなど、新商品展開を行う。</p>
10	兵庫県	南あわじ市商工会 TEL:0799-42-4721	<p>【アジア市場制覇に向けた淡路瓦の挑戦】 活用する地域資源：瓦</p> <p>昨年度はターゲットを首都圏と中国の二つに分けて新商品開発を行った。今年度は、首都圏、上海、台北、UAEの4つを設定し、それぞれのニーズに対応した新商品を開発するエリア別のマーケティング戦略を実施する。併せて潜在市場の掘り起こしを目的にベトナム中心にタイ、フィリピン、マレーシア、インドの情報を把握する。</p>
11	鳥取県	鳥取県商工会連合会 TEL:0857-31-5555	<p>【INABA(因幡)ブランド確立プロジェクト】 活用する地域資源：因州和紙、智頭杉、金属加工、縫製</p> <p>「日本の原風景」＝「鳥取因幡」の伝統、文化、技術を融合させ、「サステナブル」な新商品の開発を統一コンセプトとして世界に通用するブランドを確立するために新商品の開発と改良(欧米仕様)を行う。事業化に向けてLLPの設立の検討と将来的にはINABAブランドシリーズ売上高の2割を海外市場で占めることを目標とする。</p>
12	愛媛県	内子町商工会 TEL:0893-43-1500	<p>【五十崎和紙 Ja-Gué-Na和紙を使った生活空間の提案】 活用する地域資源：和紙</p> <p>手漉き和紙を使った今までにない和紙製品を開発し、和紙を使った生活空間を国内はもとより海外に提案し、新たな需要の創出を図るため、フランス人デザイナーを起用することで、「Ja-Gué-Naブランド」の定着を目指す。</p>
13	福岡県	大木町商工会 TEL:0944-32-1336	<p>【国産い草を使った花ござブランド創生プロジェクト】 活用する地域資源：花ござ、い草</p> <p>中国産「い草」との差別化を図る目的で、環境・健康・安全面に優れた国産「い草」製品の高付加価値化の実現が必要である。国内の首都圏や地方大都市、海外においては欧州をターゲットに絞り展開する。昨年開発した商品をさらに改良を販売ルートへの本格導入に取り組むとともにKUSAWAKEブランドのフラッグシップ商品の開発・販売に取り組む。</p>